



太陽光の変化も計算して  
展示された、野田ジャスミンの陶芸作品。

とつである、国民一律の特別定額給付金の額に合わせたのだ。2月から続いた自粛要請によって大きな打撃を被った人と同様に、全くその煽りを受けなかった人にも給付金は一律に支払われる。発案者の2人はその点に疑問を感じた。そこで、作品購入の場を用意し、給付金の使い道としてアートを購入するという選択肢を提案した。それがアートに触れるきっかけになると共に、作家への直接的な支援へと繋がったと言えるだろう。

この企画に賛同し、参加したアーティスト

トは石原梓、奥西ジェンシン、木ノ戸久仁子、野田ジャスミン、松村咲希、TOMOYA MATSUURAの6名。ジャンルも絵画、陶芸、写真、テキスタイルと様々だ。ホテルの一室を各

**大** 阪・此花区にあるデザインホテル「The Blend Inn」でアートのイベントと名付けられたイベントは、その名の通り現代アートとの出会いを気軽に楽しんで欲しいというもの。予約優先、完全入替制の

>Review:

# 現代アートと出会う日

2020.06.26 fri - 28 sun

« The Blend Inn »

大阪市此花区西九条



新たな層をターゲットに  
アートとの関わりを提案する

イベントは、3日間で約270名のゲストが訪れた。仕掛け人は、ビジネスマンの牧野圭とアーティストの吉見紫彩。現代アートをもっと身近に感じてもらいたい、また現在コロナ禍で疲弊しているアーティストや施

自がプロデュースし、作品を展示。開催期間の3日間は作家全員が在廊し、訪れるゲストとの会話に花を咲かせた。イベントでは「現代アートの見方がわからない」という人に向けて、スタッフの作品解説や観賞レクチャーがおこなわれたため、初心者でも安心して観賞できたようだ。

入場料収益の50%はホテルに寄付され、作品の売り上げはアーティストとホテルへ分配。運営にかかる必要経費、作家への謝礼を除き殆どが還元されたことになる。参加者全員で楽しみながら、大きな結果へと繋がったのだ。

実際に作品に出会って、購入するかどうかをじっくり考えたいという人に配慮して、会期後にアフターオークションという形でも作品は販売された。そうした点からも、細部までアート初心者に寄り添った企画であることが伺えるだろう。遠方のため現地に足を運ぶことができなかった人も参加でき、イベントだけでなく、販売も成功裏に終わった。

今後とも様々なイベントを企画したいと語

設に何か支援できないかという思いから、今回のイベントを企画した。緊急事態宣言下でもあり、打ち合わせなどは全てオンライン上で実施。発案からわずか38日で開催へと漕ぎ着けた。

本展は、とりわけアート初心者ターゲットとしており、「購入」を主とする一般的なアートイベントとは異なる。「出会う」ことが目的で、「買わなくてはならない」というプレッシャーを感じることなく、現代アートを楽しむことができるのだ。また、購入を検討したいという人に向け、アーティストの協力を得て、価格は全て10万円以下に設定された。以前30名程度のビジネスマンを対象に、アートについてのアンケートをおこなった結果を活かしたもので、「ギャラリーに行ってみたものの、最も安価な作品でも30、50万円ほどの値がついており、場違いだと感じた」という意見が多かったため、手が届きやすい価格にしたのだ。

10万円以下という価格には、もうひとつの理由がある。それは国のコロナ対策のひ



幻想的な雰囲気がいっぱい溢れるTOMOYA MATSUURAによる写真作品展示風景。

る牧野と吉見。現代アートへのハードルが下がり、より身近になっていく未来に期待したい。

次ページからは、参加したアーティストのうち4名のインタビューを掲載する。どのようなイベントになったのか、感じ取ってほしい。

## 禅とアートが交わるとき

- 日程  
10/10(土)・11(日)、17(土)・18(日)
- 会場  
The Blend Inn

